

各 位

群馬大学
前橋工科大学
群馬県(工業振興課)平成23年度第二回医工連携研究会
群馬重粒子線医学の現状と今後の展開(ご案内)

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

群馬大学医学部附属病院は、平成22年3月に重粒子線がん治療を開始し、同年6月には、総合病院で初めて、先進医療を行う重粒子線治療施設として認定を受けました。この重粒子線治療は、世界をリードする我が国の革新的ながん治療法であり、近い将来の重要な治療法としてさらなる普及に向けた取組が求められています。

群馬大学はこの要請に応えるべく、重粒子線医工学に携わるグローバルリーダー養成を目的に、文部科学省の「平成23年度博士課程教育リーディングプログラム」に応募し採択されました。本プログラムでは、平成24年度に大学院医学系研究科にリーディングプログラム重粒子線医工連携コースを創設し、放射線腫瘍医、医学物理士、加速器工学者、放射線生物学者などのグローバルリーダーを養成します。これにより、研究の途から普及段階に入っている現在の重粒子線医工学におけるトップランニングを加速し、さらなる技術革新を担う世界で活躍できる人材を送り出します。

今回の医工連携研究会では、附属病院で実施している重粒子線がん治療に関わる多くの問い合わせにお応えするため、その目的・方法・効果などについてご紹介すると共に、基調講演において、和泉医学系研究科長から、重粒子線治療の基礎研究・臨床研究、重粒子線医療の研究戦略、並びに「博士課程教育リーディングプログラム」に関わる人材養成についてご紹介いたします。講演Ⅰでは、重粒子線医学センターの大野副センター長から、重粒子線治療の流れや適応と効果について、講演Ⅱでは、昭和地区事務部医療サービス課の小出課長から、重粒子線治療を受ける際の先進医療と保険診療の併用治療について、講演Ⅲでは、生産システム工学専攻の保坂教授から、医学・工学融合のリーディングプログラム重粒子線医工連携コースについて、講演Ⅳでは、前橋工科大学生命情報学科の鍾教授から、知的情報処理と医工連携についてご紹介いたします。

皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加いただきますようご案内申し上げます。

- 日 時 平成24年2月27日(月) 13時～16時40分
- 場 所 前橋商工会議所 2階 サクラ
前橋市日吉町1-8-1 電話 027-234-5111(代)
- 対 象 県民、医療・健康科学産業に関連する企業及び団体等関係者
- お問合せ先 住所 〒371-8511 前橋市昭和町三丁目39-22
群馬大学共同研究イノベーションセンター昭和分室『医工連携係』 担当：石田 悦子、塚田 光芳
TEL：027-220-8115、FAX：027-220-8116 E-mail：eishida@jimu.gunma-u.ac.jp

キ リ ト リ 線

FAX参加申込書 (027-220-8116)

企業名・団体名等			
住所 〒		TEL	
		FAX	
所属・部署名・役職	氏名	メールアドレス	交流会参加希望(O)
		@	
		@	

※ 交流会に参加いただける方は、希望欄に O を付け、会費1,000円を当日会場でお支払いください。

※ ご記入いただいた情報については、個人情報保護法により、参加いただいた方の了解なく第三者に、譲渡、漏洩することはありません。